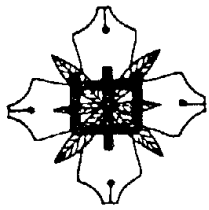


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にする心」「たくましく生きる力」を育てよう



十中だより

平成29年 7月20日 発行 第26号

発行者:中野区立第十中学校

きじ 眼前の瑣事について

18世紀初頭、江戸は人口100万人を超え、世界最大規模の都市だった。江戸市街の大半は武家が専有し、人口の大半を占める町民たちは限られた狭い地域でひしめき合って生活していた。そんな江戸の町民は、子どもが立派な大人に成長するための教育指針「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる」を守り、熱心に子育てを行った。参考までに、「三つ心」は、3歳までに十分な愛情を注いで思いやりのある子に育てなさい。「六つ躰」は、6歳までに挨拶や箸の持ち方などの一通りの躰を済ませておきなさい。「九つ言葉」は、9歳までに誰に対しても失礼でない言葉遣いができるようにしなさい。「十二文」は、12歳までにきちんとした文章を書けるようにしなさい。「十五理で未決まる」は、15歳までに世の中の道理を理解させなさい。ここまでで子どもの将来は決まってしまう、という意味である。子どもの発達段階に応じて身に付けるべき素養を的確に言い述べている。

ところで、最近の子どもは「あいさつができない」とか「礼儀正しくない」などということを目にする。しかし、自分の子どものころを思い出すと、進んであいさつをしていたか、或いは、礼儀正しい振る舞いをしていたか疑問が残る。むしろ、今の十中生の方がはるかによくなってきているように思う。

6月に行った「十中十箇条の達成状況に関するアンケート」の結果が発表された。

「挨拶」「時間」「服装」「礼儀」「姿勢」「整理」「責任」「給食」「校歌」、そして「十中プライド」の十項目の全てにおいて達成率が80%を超えた。特に、3年生は7項目で90%を超えるという圧倒的な達成率であった。誠実に学校生活を送っている成果以外の何物でもない。詳細については「未来への一歩第4号」を参照。

“時を守り、場を清め、礼を正す”で有名な教育者森信三先生はこう述べている。

「その学校の教育の程度を知るには、3秒とかがからぬ。子どもたちの靴箱の前に立って見るがよい」「教育は観念的なキレイごとではない。言うなれば実に野暮ったいものである。まず紙屑を拾うことから。次に靴箱の靴のかかところが揃うように。真の教育は、こうした眼前の瑣事（ささいな事）からスタートする。」

十中は、今後も「眼前の瑣事」に対して真摯に取り組みながら教育の程度を上げ、そして「十五理」を実践し、希望に満ちた「未決まる」の実現を図りたいと思っている。

明日から夏休み—————。

十中生にとって、「十五理」に資する42日間になることを願い、7月の巻頭言とする。



3 学年修学旅行終えて

～修学旅行の成功とは・・・～

7月10日(月)～12日(水)、第3学年は奈良・京都方面への修学旅行を実施。

初日、東京駅集合完了は予定より20分早い時刻。大阪のホテルでバイキング昼食をした後、バスで奈良へ移動。訪れた法隆寺や東大寺は観光客も少なく、ゆったり見学。東大寺の柱くぐりは貸切り状態!?

1回目で失敗したが、再チャレンジしたY野君。絶対無理と思われたが、仲間達の熱い友情に支えられ、奇跡的成功を遂げる!

2日目、京都市内班行動。この日の最高気温35度、体調を崩すこともなく、臨機応変な行程変更を行いながら班行動を完遂。全班が宿舎に戻ったのは午後4時44分。リミット1分前である。夜は青蓮院での法話体験。40分間、正座状態で和菓子を食べ、抹茶を飲み、門主

の法話を聞き、最後、全員で「日常の五心」を唱和。一番苦しげな表情を浮かべていたのはY根先生。その後、足のしびれを抱えながらライトアップされた庭園で琴の演奏を鑑賞。

3日目は京都市内タクシー班行動。この日も観光客は少なく、音羽の滝の水は飲み放題! 学問成就・恋愛成就・延命長寿を一度に制覇する強者あり。坂上田村麻呂も真っ青!?

京都駅での解散式。校長からは「大変立派な態度、素晴らしい3年生」、添乗員からは「今年の添乗した中で最も素晴らしい中学校」、そしてカメラマンの三好さん(十中卒業生)からは「十中の最後を託すに相応しい立派な後輩」というお褒めの言葉。

後日発行された3学年便り23号はこう結んである。

「修学旅行の成功とは、『3日間、立派に過ごすこと』だけではない。3日間からいかに学び、今後いかに成長していくのか。それができて初めて『今回の修学旅行は成功だった』と言える。」

3年生————。まだまだ、学ぶことはたくさんあり、もっともっと成長していかなければならない。

余談だが、宿舎での2度の夕食及び朝食は当然ながら残食ゼロであることを追記しておく。



「日常の五心」
一、「はい」という素直な心
一、「すみません」という反省の心
一、「おかげさまで」という謙虚な心
一、「私がします」という奉仕の心
一、「ありがとうございます」という感謝の心



2 学年職場体験を実施

7月10日（月）～12日（水）、修学旅行期間中の3日間、2年生は31の事業所に分かれて職場体験を行った。以下、副校長からメール配信された内容の一部。

1日目① 職場体験では、集合時間を間違えたり、名札やしおりを忘れた生徒もいましたが、全員、元気に体験中です。

1日目② 職場体験は全班から終了の連絡が入り、無事終了しました。真剣に働く表情が各事業所で見られ、いい体験になりました。

2日目① 順調に実施中です。日頃できない体験をしたり、単調な仕事を黙々とやったり、大きな声であいさつをしたりと、それぞれの事業所でいい体験をしています。

2日目② 職場体験2日目が無事終了しました。暑い中ですが、みんなよく働いて、あいさつに回った先生方も事業所の方からお褒めの言葉をいただきました。

3日目① 2年生は全グループ職場体験に向かいました。職場が変わったり、疲れがたまったりと、それぞれに大変ですが、みんな頑張っています。

3日目② 職場体験は、先ほど、全グループが無事終了しました。最終日は、ほとんどの班が報告までしっかりと行き、事業所の方からもお褒めの言葉をたくさんいただきました。

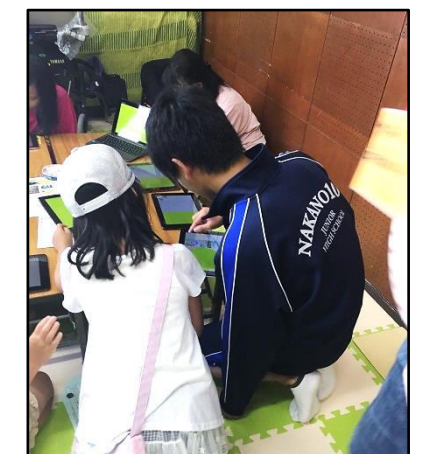
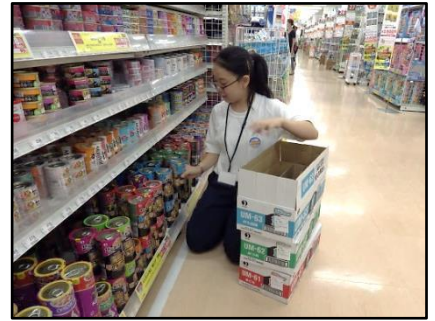
初めは緊張や戸惑い、トラブルもあったようだが、2年生は職場体験の3日間で日頃できない経験をしながら大きく成長できたようだ。たくさんの事業所から「大変熱心にやっています」という言葉もいただいたとのこと。3学年便りを引用すれば、「職場体験の成功とは、『3日間、立派に過ごすこと』だけではない。3日間からいかに学び、今後いかに成長していくのか。それができて初めて『今回の職場体験は成功だった』と言える。」ということになる。

ボランティア活動に参加しよう！

夏になり、地域では様々なイベントが開催される。それに伴い、ボランティアの需要も高まる。写真は7月15日（土）、弥生児童館で行われた「弥生スペシャル」で十中生がボランティアとして活躍している様子。

十中では、十中生が心豊かな生徒に成長し、地域社会に貢献する人になることを願い、学校内外でのボランティア活動を推奨している。ボランティア活動を行った生徒は「ボランティア報告書」を提出することで「ボランティア・スピリット賞」が授与される。大いに参加してほしい。

保護者の皆様におかれましては、お子様がボランティア活動に参加されることへのお声かけをお願いします。



残食ゼロは十中の代名詞 ～孤高の戦いは続く～

今年度の第1回給食残食率調査結果が出た。

十中は前年度2月に「残食ゼロ」という金字塔を打ち立て、以後年度末まで残食ゼロの状態が続いた。

今年度も1年生が学校生活に慣れ始めた5月には全校で残食ゼロが実現。そして、今に続いている。

以前、十中では「残食ゼロ」を目指して先生方が必死になって食べさせ、また、自らも「実践」していた。しかし、「給食は個人戦でなく団体戦」を地道に実践した結果、「残食ゼロ」は容易に実現・継続され、今では十中の代名詞となった。

ところで、昨年までの本校の良きライバルであった某中学校が、今年は調査対象校ではなくなり、十中孤高の戦いとなった。職員室にはそれを残念がる先生もいる。願わくは、某中に代わるライバル校が出現し、互いに切磋琢磨しながら残食ゼロを多くの学校に広げていきたい。

＜残食率＞ 6/5～6/16（単位は％）

校名	ご飯	パン	麺類	主食 その他	牛乳	果物	その他 ゼリー	おかず
A中	11.2	6.9	13.1	6.8	12.3	14.6		13.2
B中	7.8	3.2	6.3	3.2	4.1	6.3		8.2
十中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
C中	8.6	5.3	6.2	1.1	7.8	14.2		9.8
D中	16.8	4.2	13.4	8.8	10.9	15.0		11.1

「社会を明るくする運動」推進活動

「坂上DEいきいきコンサート」が開催

7月13日(木)、坂上の森公園において法務省主催「社会を明るくする運動」の推進行事である「坂上DEいきいきコンサート」が開催された。

当日は真夏日の蒸し暑い陽気ながら、大勢の地域の方々が会場に足を運び演奏に聴き入っていた。十中も和太鼓部と吹奏楽部がプログラムの最後に演奏を披露して「社明運動」を盛り上げた。

両部の1年生は今回のコンサートが大勢の前で演奏する初めての機会。緊張もあったようだが、最後まで堂々と演奏をし、会場からは盛大な拍手をいただく。両部は、今後、たくさんの方で演奏活動を行っていく予定。活躍を期待したい。

なお、今年、十中ラストイヤーに伴い、同コンサートも「Final」となった。

